



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社グラフィイトデザイン 上場取引所 東
コード番号 7847 URL <https://www.gd-inc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 拓郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部担当 (氏名) 窪田 悟 TEL 0494-62-2800
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 2024年11月11日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	1,677	31.4	325	—	290	—	199	—
2024年2月期中間期	1,277	△25.2	△53	—	△6	—	△2	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	30.84	—
2024年2月期中間期	△0.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	6,116	4,961	81.1
2024年2月期	6,045	4,891	80.9

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 4,961百万円 2024年2月期 4,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年2月期	—	15.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,028	14.2	445	192.2	415	75.5	278	58.8	42.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期中間期	6,945,600株	2024年2月期	6,945,600株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	460,147株	2024年2月期	460,147株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年2月期中間期	6,485,453株	2024年2月期中間期	6,475,127株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化によるインバウンド需要の増加、各種政策の効果等により緩やかに回復への動きが見られました。しかし、日銀の金融政策の見直しによる急激な為替相場変動の影響や金融資本市場の変動等の懸念材料も多く、国際情勢は安定感を欠いている状況が続いております。

こうした外部環境の中、ゴルフ業界におきましては、パリオリンピック2024のゴルフ競技における日本人選手の活躍もあり、注目度が一層高まるとともに業界全体においても盛り上がりが見られました。

このような状況の中、当社は受注獲得及び操業度の安定化維持に努めたことにより、自社ブランドシャフトの販売が増加し、売上高及び各段階損益ともに前年同期と比べ大きく増収増益となりました。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高1,677,723千円(前年同中間期比31.4%増)、営業利益325,954千円(前年同中間期は営業損失53,717千円)、経常利益290,783千円(前年同中間期は経常損失6,112千円)、中間純利益199,983千円(前年同中間期は中間純損失2,755千円)となりました。

セグメントについては、下記のとおりであります。

当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーとして、ゴルフシャフト等の製造販売を柱とし、ゴルフクラブ組立加工事業を行っております。

したがって、当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーであり単一セグメントであるため、記載をしておりますが、売上集計区分である売上高構成について記載しております。

部門の名称	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	増減率 (%)
ゴルフシャフト製造販売(千円)	1,572,203	33.6
ゴルフクラブ組立加工及びその他(千円)	105,520	5.5
合計(千円)	1,677,723	31.4

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ71,051千円増加し、6,116,548千円となりました。

主な要因は、流動資産において、売上債権が161,695千円増加したものの、棚卸資産が36,702千円減少し、また、借入金返済等により現金及び預金が35,334千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債総額は、前事業年度末に比べ423千円増加し、1,154,854千円となりました。

主な要因は、短期借入金が224,498千円減少したものの、未払法人税等が111,530千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産については、前事業年度末と比べ70,628千円増加し、4,961,694千円となりました。

主な要因は、中間純利益を199,983千円計上した一方、配当金の支払額129,709千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.1%となり前事業年度末と比べ0.2ポイント増加しました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ35,334千円減少し、3,594,377千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金は、387,557千円の獲得(前年同中間期は43,487千円の獲得)となりました。

主な要因は、税引前中間純利益が295,915千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金は、48,963千円の使用(前年同中間期は51,573千円の使用)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が49,681千円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金は、353,860千円の使用(前年同中間期は472,259千円の使用)となりました。

主な要因は、短期借入金の返済224,498千円と配当金の支払い129,362千円が発生したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年9月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は為替相場の変動や業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,629,712	3,594,377
受取手形及び売掛金	394,994	592,153
電子記録債権	51,490	16,026
商品及び製品	353,230	331,655
仕掛品	130,310	108,344
原材料及び貯蔵品	88,605	95,444
未収還付法人税等	61,308	—
その他	13,677	16,799
貸倒引当金	△443	△606
流動資産合計	4,722,886	4,754,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	636,426	651,481
土地	216,671	216,671
その他(純額)	165,438	179,635
建設仮勘定	8,000	8,000
有形固定資産合計	1,026,536	1,055,788
無形固定資産	26,170	21,643
投資その他の資産	269,904	284,921
固定資産合計	1,322,610	1,362,353
資産合計	6,045,497	6,116,548
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,542	199,298
短期借入金	392,835	168,337
未払法人税等	7,057	118,588
賞与引当金	54,391	53,352
その他	82,666	134,403
流動負債合計	718,493	673,979
固定負債		
退職給付引当金	103,007	110,297
役員退職慰労引当金	241,419	252,309
資産除去債務	91,511	118,267
固定負債合計	435,937	480,874
負債合計	1,154,430	1,154,854

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	589,612	589,612
資本剰余金	582,653	582,653
利益剰余金	4,112,570	4,182,845
自己株式	△406,708	△406,708
株主資本合計	4,878,128	4,948,402
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,938	13,292
評価・換算差額等合計	12,938	13,292
純資産合計	4,891,066	4,961,694
負債純資産合計	6,045,497	6,116,548

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	1,277,269	1,677,723
売上原価	659,537	731,623
売上総利益	617,731	946,099
販売費及び一般管理費	671,449	620,145
営業利益又は営業損失(△)	△53,717	325,954
営業外収益		
受取利息	1,811	3,680
受取配当金	668	744
為替差益	45,805	—
雇用調整助成金	—	2,003
雑収入	4,430	5,570
営業外収益合計	52,716	11,998
営業外費用		
支払利息	1,268	1,307
為替差損	—	45,779
雑損失	3,842	82
営業外費用合計	5,110	47,169
経常利益又は経常損失(△)	△6,112	290,783
特別利益		
固定資産売却益	679	4,082
保険解約返戻金	10,520	1,049
特別利益合計	11,200	5,131
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前中間純利益	5,088	295,915
法人税、住民税及び事業税	5,289	108,137
法人税等調整額	2,554	△12,205
法人税等合計	7,843	95,931
中間純利益又は中間純損失(△)	△2,755	199,983

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	5,088	295,915
減価償却費	57,767	59,068
保険解約返戻金	△10,520	△1,049
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△297	162
受取利息及び受取配当金	△2,479	△4,424
支払利息	1,268	1,307
為替差損益 (△は益)	△26,750	20,068
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,711	10,890
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,570	7,290
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,401	△1,038
固定資産売却損益 (△は益)	△679	△4,082
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	302,105	△161,695
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△100,545	36,702
仕入債務の増減額 (△は減少)	△96,059	17,755
その他	50,756	49,064
小計	212,334	325,936
利息及び配当金の受取額	2,479	4,424
利息の支払額	△1,163	△1,224
法人税等の支払額	△170,163	△2,887
法人税等の還付額	—	61,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,487	387,557
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,757	△49,681
無形固定資産の取得による支出	△2,603	—
有形固定資産の売却による収入	680	4,767
保険積立金の積立による支出	△4,976	△5,130
保険積立金の解約による収入	10,558	1,081
貸付金の回収による収入	526	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,573	△48,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△214,498	△224,498
配当金の支払額	△257,761	△129,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472,259	△353,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,750	△20,068
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△453,594	△35,334
現金及び現金同等物の期首残高	3,814,929	3,629,712
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,361,334	3,594,377

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(資産除去債務の見積りの変更)

当中間会計期間において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額23,360千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更による当中間会計期間の営業利益、経常利益及び税引前中間純利益への影響はありません。

(重要な後発事象の注記)

(重要な設備投資)

当社は、2024年9月27日開催の取締役会において、新工場を建設することを決議いたしました。

1. 設備投資の目的

「生産効率の向上」や「環境への配慮」等を推進することで生産体制の更なる強化を図るため、本社敷地内に新工場を建設いたします。

2. 設備投資の内容

- | | |
|-----------|------------|
| (1) 所在地 | 埼玉県秩父市 |
| (2) 用途 | 工場及び生産設備 |
| (3) 投資予定額 | 約971,753千円 |

3. 設備の導入時期

- | | |
|----------|----------|
| (1) 着工予定 | 2024年11月 |
| (2) 竣工予定 | 2025年12月 |

4. 当該設備が営業・生産活動等に及ぼす重要な影響

当該設備投資による2025年2月期の業績に与える影響は軽微であります。